



オンコル[®] 粒剤 5

©はOATアグリオ(株)の登録商標

水稲・野菜・花き類に
殺虫剤のロングセラー



特長

1.優れた浸透移行性

有効成分が作物全体に速やかに浸透移行し、生長の盛んな部分を含め作物全体を害虫の被害から守ります。

2.効果が長期間持続

水稲では育苗箱処理により初期害虫に対して長期間効果を示します。

野菜類では定植直前の処理、また花き類では定植時・生育期の処理により難防除害虫に長期間優れた効果を示します。

3.広範囲の害虫に有効

幅広い殺虫スペクトラムを有しているため、水稲・野菜・花き・たばこ等の広範囲の害虫に有効です。

4.抵抗性害虫にも有効

安定した殺虫力を持ち、抵抗性害虫に対しても有効なロングセラー殺虫剤です。



OATアグリオ株式会社

●適用害虫の範囲及び使用方法

2022年12月現在の登録内容

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネミズゾウムシ イネドロオウムシ イネヒメハモグリバエ イネハモグリバエ	育苗箱 (30×60×3 cm 使用土壌約5L) 1箱当り30~60g	移植前3日 ~移植当日	1回	育苗箱の上から均一に 散布する。	1回
		高密度には種する場合は 0.6~1.2kg/10a 育苗箱 (30×60×3cm,使用土壌約5L) 1箱当り30~120g	移植当日			
	ツماغロヨコバイ ヒメトビウンカ セジロウンカ	育苗箱 (30×60×3 cm,使用土壌約5L) 1箱当り50~80g	移植前3日 ~移植当日			
		高密度には種する場合は 1~1.6kg/10a 育苗箱 (30×60×3cm,使用土壌約5L) 1箱当り50~160g	移植当日			
	イネシガラセンチュウ	育苗箱 (30×60×3 cm,使用土壌約5L) 1箱当り60g	移植前3日 ~移植当日			
		高密度には種する場合は 1.2kg/10a 育苗箱 (30×60×3cm,使用土壌約5L) 1箱当り60~120g	移植当日			
とうがらし類	ミナミキイロアザミウマ	0.5g/株	育苗期後半 又は定植時	1回	株元散布	3回以内 植付時の土壌混和は 1回以内、 培土時の土壌混和及び 株元散布は合計1回以内、 散布は1回以内
ひろしまな	アオムシ モモアカアブラムシ	1g/株	育苗期後半			
メキャベツ 非結球メキャベツ	アブラムシ類			定植時		全面土壌混和
らっかせい	コガネムシ類幼虫	9kg	は種時		株元土壌混和	
さといも	アブラムシ類	6~9kg	生育期 但し、 収穫60日前まで		植溝土壌混和	
	コガネムシ類幼虫			植付時		
	コガネムシ類幼虫 ハリガネムシ類 メイチュウ類	9kg	培土時		株元散布又は 株元土壌混和	
	コガネムシ類幼虫 メイチュウ類	4~6kg			散布	
飼料用さとうきび	カンシャコバネナガカメムシ	6kg	収穫100日前 まで		散布	
	コガネムシ類幼虫 ハリガネムシ類 メイチュウ類	6~9kg	植付時		植溝土壌混和	
	コガネムシ類幼虫	9kg	培土時		株元散布又は 株元土壌混和	
	メイチュウ類	4~6kg				
花き類・観葉植物 (きく、ストックを除く)	アザミウマ類	6kg	生育期	3回以内	株元散布	4回以内
きく	ミナミキイロアザミウマ	6~9kg	定植時	1回	植溝土壌混和 又は株元散布	
	ミカンキイロアザミウマ	9kg	生育期	3回以内	株元散布	
ストック	コナガ	0.5g/株	定植時	1回	全面土壌混和	
	アザミウマ類					
樹木類 (つつじ類を除く)	アブラムシ類	6kg	生育期	3回以内	株元散布	
つつじ類	コガネムシ類幼虫	9kg			全面土壌混和 又は株元土壌混和	
たばこ	アブラムシ類	6kg	定植時	1回	作条土壌混和	
	アザミウマ類	3~6kg				

※育苗箱は30×60×3cm、使用土壌約5ℓ

●ラベルをよく読む。●記載以外には使用しない。●小児の手の届く所には置かない。●使用量に合わせて秤量し、使いきる。●空袋は圃場などに放置せず、適切に処理する。●防除日誌を記帳する。

取扱い